

私の標本箱

ねらい セミを観察し、自分の標本箱をつくろう。

時間 半日

場所 いろいろなセミの抜け殻のあるところ

人数 一人、数名

季節 夏～秋

用具 セミの抜け殻 / ルーペ / 画用紙 / 鉛筆 (4B・6B など) / 色鉛筆 / 画板 / 発砲スチロール製のトレイ / ボンド (早く乾くもの) / サランラップ / 細い紙

手順

1. 森の中でセミの抜け殻を探そう。木の幹、葉っぱの裏側をよ～く見ると見つかるよ。セミの種類によって見つかる高さが他の種類と違うことも観察しよう。
2. 自由にスケッチしてみよう。(ルーペで観察しながらスケッチしてみるといろいろなことがわかるよ。)
3. ルーペを見ながら、大きさ、形、触覚の長さ、色、表面の様子(つやがあるか、ドロがついているか)などを見ながらセミの名前を調べよう。抜け殻で雄、雌も見分けられるよ。
セミの種類はいつく?習性、一生についても話し合いながら、自分だけの標本を作ってみよう。どんなふうにつくったら標本として見やすいかな?並べる順番などにも気を配ってみよう。
 - ひとつひとつにボンドをつけよう。
 - ケースにはっていこう。
 - セミの名前を紙に記入し、はっていこう。できあがり。いろいろな種類の抜け殻が集まったよ。さあ、どんな標本ができたかな?みんなで見せ合ってみよう。

ポイント

抜け殻をはるときは、大きさ別に並べると見やすい。ケースの底にハリパネなどの台紙を貼り付けると抜け殻をピンでも固定できます。抜け殻はとってもこわれやすいので、フィルムケースに入れたり、箱にティッシュペーパーをしいたりして持って帰りましょう。

